



No. 7-1  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成29年度第4回

一般国道176号

な じ お  
名塩道路

【再評価】

平成29年10月  
近畿地方整備局

# 目次

1. 事業の概要
2. 事業の必要性等に関する視点
  - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
  - 2) 事業の整備効果
  - 3) 事業の投資効果
  - 4) 地域における計画等
3. 事業進捗の見込みの視点
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
5. 関係自治体の意見
6. 対応方針(原案)

# 事業全体図

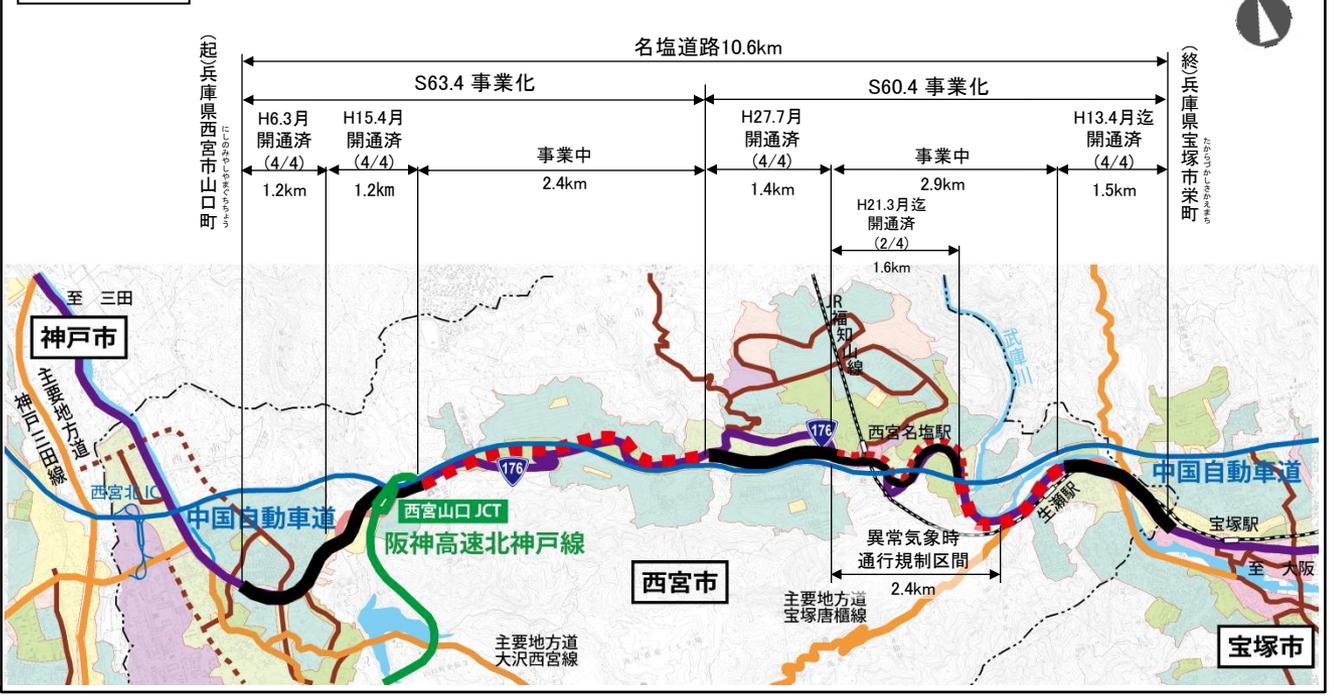
## 一般国道176号 名塩道路

一般国道176号は、京都府宮津市から阪神北部地域を經由し大阪府大阪市に至る延長約180kmの主要幹線道路です。  
 名塩道路は、西宮市山口町から宝塚市栄町までの延長約10.6kmの現道拡幅およびバイパス事業で、交通混雑の緩和、交通安全の確保及び異常気象時通行規制区間の解消を目的とした道路です。

広域図



位置図



凡例		
道路	名塩道路 開通済	——
	名塩道路 事業中	.....
	高速自動車国道	——
	その他の有料道路	——
	一般国道	——
用途地域	主要地方道及び一般県道	——
	市道	——
	都市計画道路	.....
	第一種低層住居専用地域	——
	第一種中高層住居専用地域	——
	第二種中高層住宅専用地域	——
	第一種住居地域	——
	第二種住居地域	——
	近隣商業地域	——
	商業地域	——
準工業地域	——	

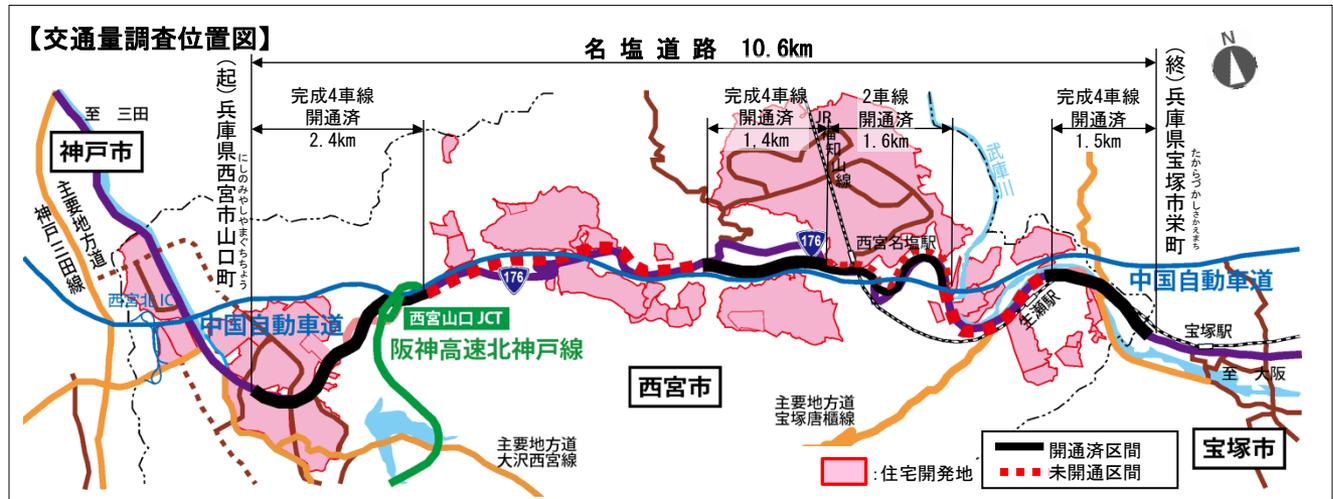


# 2. 事業の必要性に関する視点

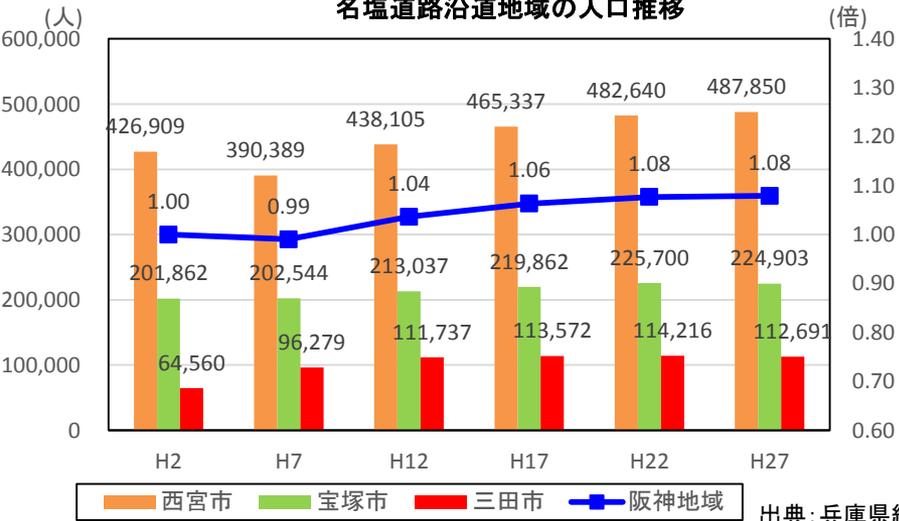
一般国道176号 名塩道路

## 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

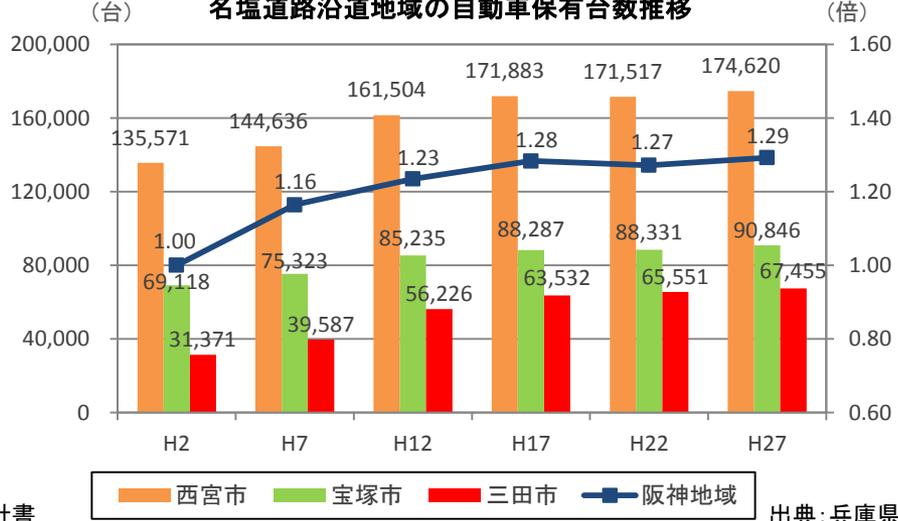
- 国道176号の沿道自治体(西宮市・三田市・宝塚市)の人口は平成7年より増加しており、近年横ばい。
- 自動車保有台数は近年横ばいであり、阪神地域の伸び率とほぼ同等に推移している。



名塩道路沿道地域の人口推移



名塩道路沿道地域の自動車保有台数推移

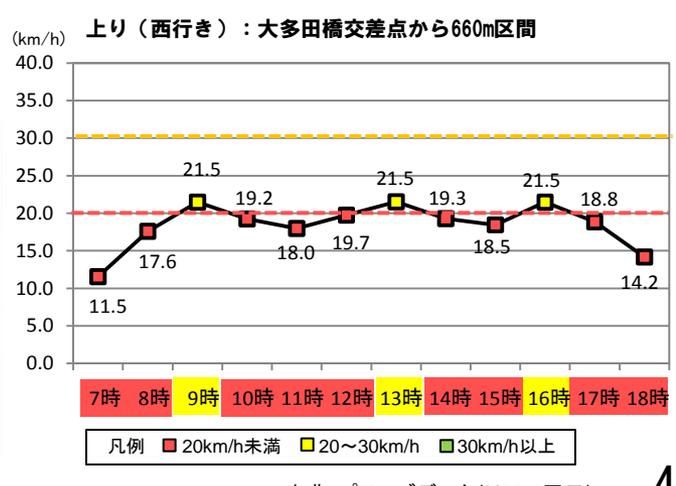
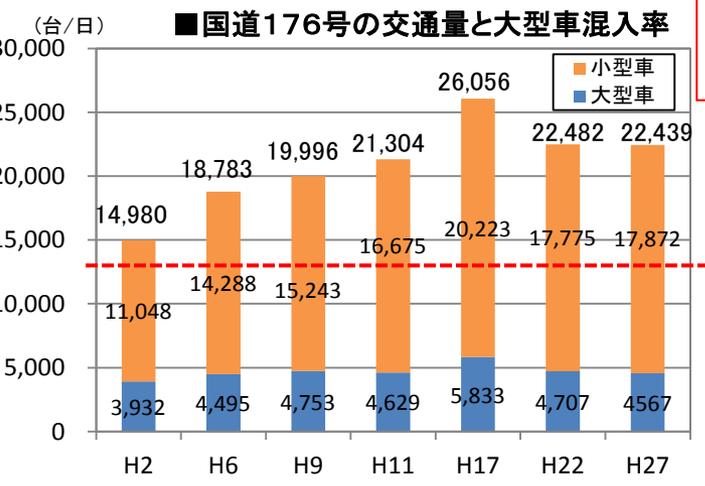
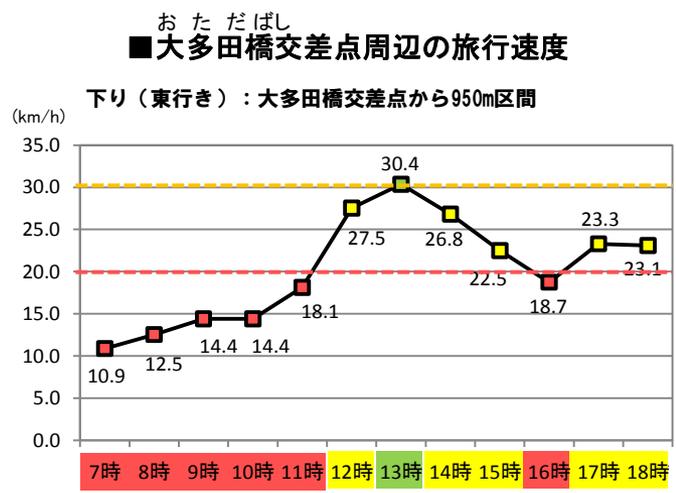
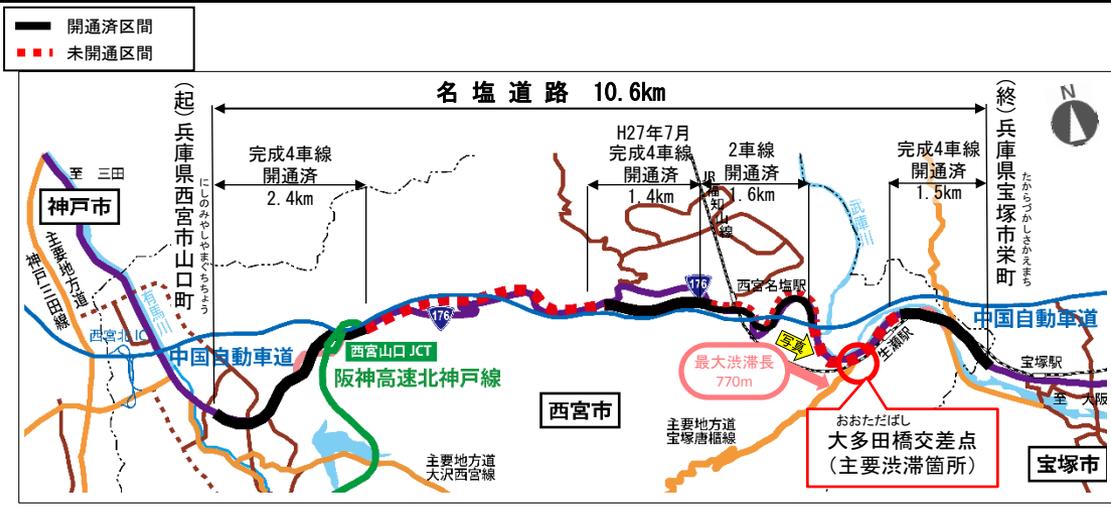


# 2. 事業の必要性に関する視点

一般国道176号 名塩道路

## 2) 事業の整備効果(交通混雑の緩和)

- 国道176号の交通量は近年横ばいであり、一日で2万台以上の車両が通行している。
- 主要渋滞箇所であるおただばし 大多田橋交差点では慢性的に旅行速度が低下している状況である。
- 名塩道路の整備により交通容量が拡大し、交通混雑の緩和が期待される。



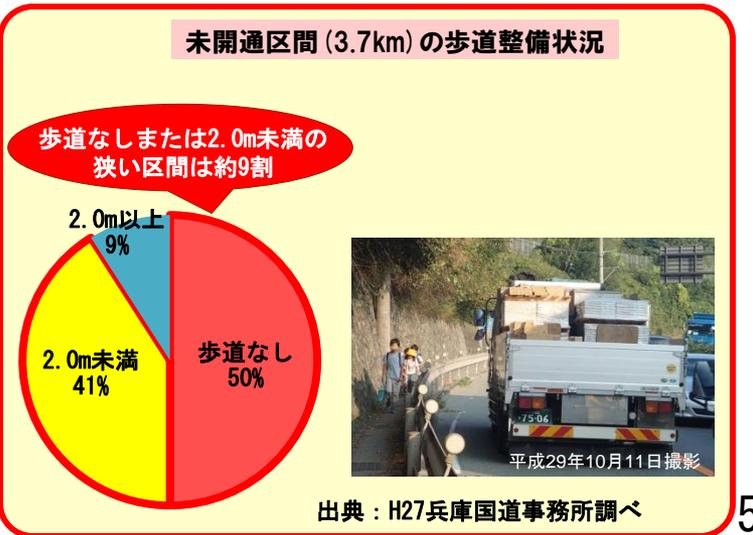
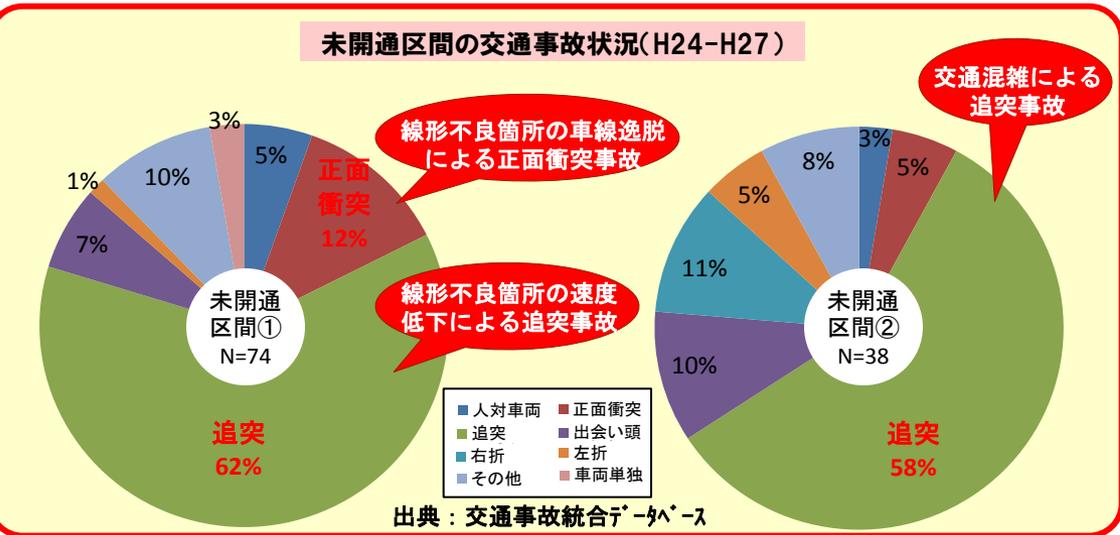
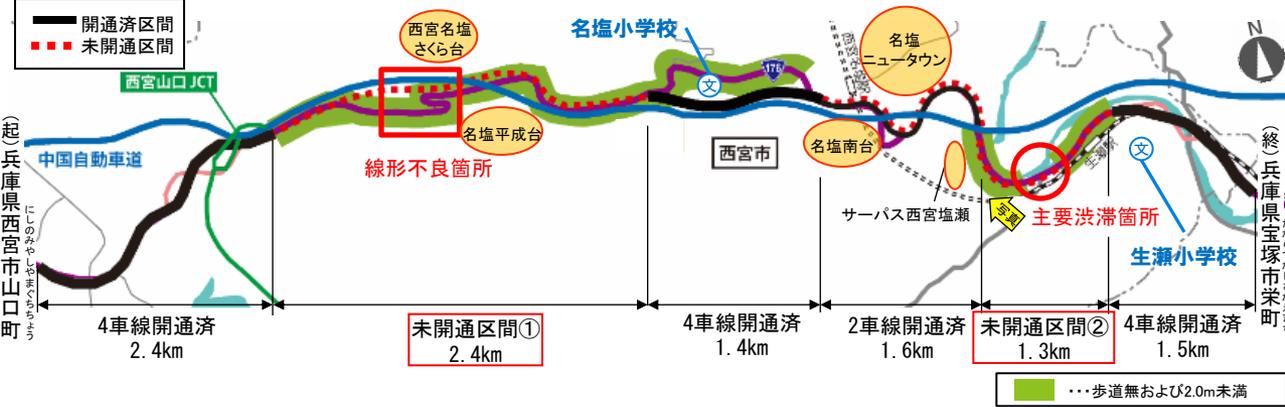
出典：プローブデータ(H29.2平日)

# 2. 事業の必要性に関する視点

一般国道176号 名塩道路

## 2) 事業の整備効果(交通安全の確保)

- 未開通区間では、速度低下による追突事故や線形不良箇所の正面衝突事故が全体の約7割を占める。
- 未開通区間では、歩道未設置および歩道幅2.0m以下の区間が全体の9割以上を占め、狭小な路肩を歩行者が通行し、大型車と近接するなど危険な状況。
- 未開通区間の整備により渋滞が緩和し追突事故の防止、および安全な歩行空間の確保が期待される。



# 2. 事業の必要性に関する視点

一般国道176号 名塩道路

## 2) 事業の整備効果(異常気象時通行規制区間の解消)

- 国道176号では異常気象時通行規制区間があり、年1回程度の通行規制が発生している。  
また、武庫川の氾濫により道路が冠水する被害が発生。
- 国道176号周辺では中国自動車道や県道等、多くの道路が事前通行規制区間に指定されている。
- 名塩道路の整備により規制雨量が緩和・解消し、周辺道路の迂回路としての活用が期待できる。



写真: 生瀬地先越水状況



1回/年の頻度で通行止めが発生  
国道176号規制により帰宅困難集落が発生

● 過去10年間の通行規制履歴(176号線)

規制日時	時点	内容
H21.8.2	約5時間半	規制雨量超過
H22.5.24	約1時間半	規制雨量超過
H23.5.29	約2時間	規制雨量超過
H23.9.4	約1時間	規制雨量超過
H25.9.16	約8時間	規制雨量超過
H26.8.9	約4時間半	規制雨量超過
H26.8.10	約6時間半	規制雨量超過(越水)
H27.7.17	約14時間	規制雨量超過

出典: 兵庫国道事務所 災害体制履歴

# 2. 事業の必要性に関する視点

一般国道176号 名塩道路

## 3) 事業の投資効果

### ■ 便益(B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

### ■ 費用(C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

### ■ 事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	1,694億円	98億円	15億円	1,807億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	1,477億円		47億円	1,523億円	

### ■ 算出条件等

基準年 : 平成29年度  
検討期間 : 50年間  
現在価値算出のための社会的割引率 : 4%  
交通量の推計時点 : 平成42年度  
交通量の推計手法 : 平成17年度  
道路交通センサス統合推計モデル【第二段階】

### 適用した費用便益分析

マニュアル : 平成20年11月版  
事業費 : 901億円  
維持管理費 : 28百万円/km  
作成主体 : 近畿地方整備局

### ■ 残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	1,238億円	84億円	14億円	1,336億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	78億円		23億円	101億円	

※1 便益・費用については、現在価値化した値である

※2 便益・費用の合計値については、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

## 4) 地域における計画等

### ■地域における計画

名塩道路は、下記の計画に位置付けられています。

○道路整備について(兵庫県:平成28年10月)

○兵庫県都市計画区域マスタープラン

「阪神間都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」(兵庫県:平成28年3月)

○第4次西宮市総合計画(西宮市:平成21年3月 平成26年改訂)

### ■これまでの経緯

◆昭和53年2月 一般国道176号整備促進期成同盟会 設立

・構成メンバー 西宮市長、宝塚市長、川西市長

(最近の動向)

・平成28年11月に関係機関に対し、名塩道路の早期整備を要望

◆昭和47年7月 中国縦貫自動車道沿線地域復興協議会 設立

・構成メンバー 阪神、北播、中西播ブロック17市長

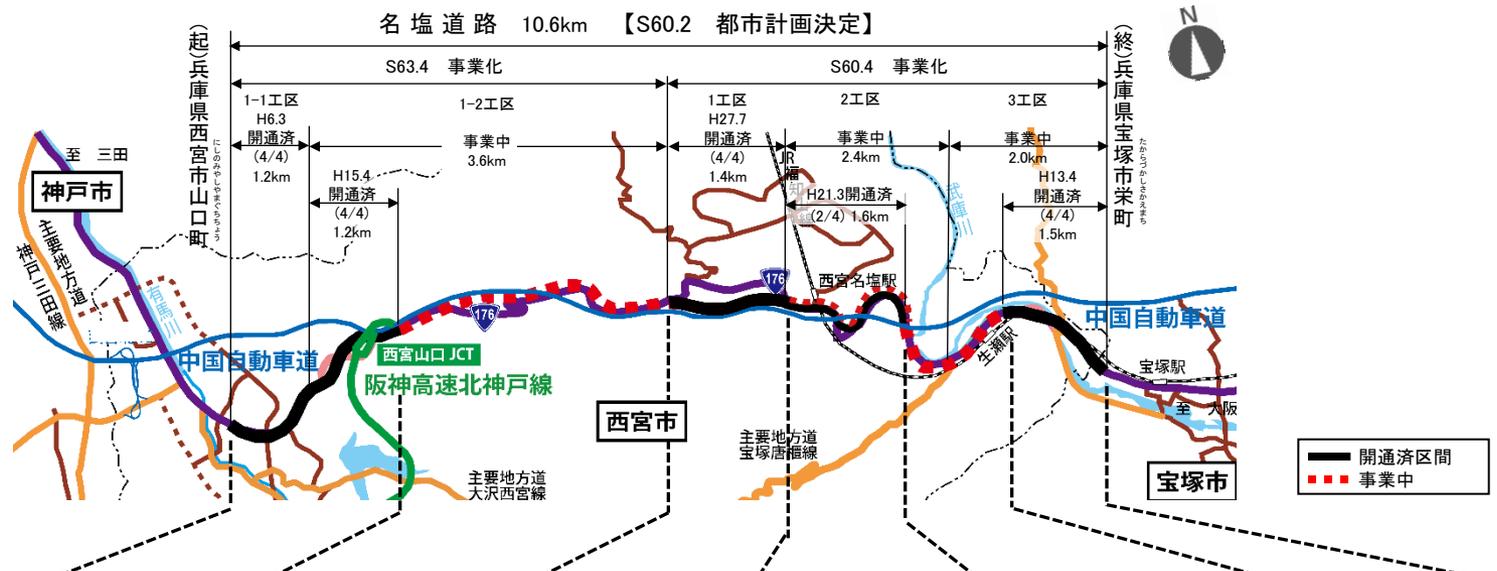
(最近の動向)

・平成29年2月に関係機関に対し、名塩道路の早期整備を要望

# 3. 事業進捗の見込みの視点

一般国道176号 名塩道路

- 1) 事業の進捗状況
  - 平成29年度事業内容
    - ・現在、調査・設計、用地買収、改良工事・橋梁工事等を実施しています
  - 進捗状況
    - ・平成28年度末までの進捗は、用地進捗率約74%（面積ベース）、事業進捗率約93%（事業費ベース）です
    - 事業進捗上の課題
      - ・大きな課題はありません
- 2) 今後の事業スケジュール等
  - ・引き続き事業を推進し、早期の開通を目指します



区間	開通済区間	未開通区間	開通済区間	2/4開通済区間	未開通区間	開通済区間
用地	約74%					
	用地取得済	用地推進	用地取得済			
工事	H6.3開通	調査・設計・改良工事推進	H27.7開通	H21.3迄暫定開通 改良工事推進	調査・設計 橋梁・改良工事推進	H10.4.5開通

## ■ 全体事業費の見直し

- 現道拡幅構造を盛土構造から張出橋梁構造へ変更したことなどにより約52億円の事業費増が生じたため、コスト縮減を図ったものの、事業費全体では約51億円の増額が発生。

## ■ 事業費増加の要因

- ① 関係機関との協議の結果、現道拡幅の構造を盛土構造から張出橋梁構造への変更が必要となった。
- ② 地質調査の結果、新たな地すべり面が確認され、地滑り対策が必要となった。
- ③ 地質調査の結果、想定より地質が悪くトンネル掘削パターンの変更が生じた。

## ■ コスト縮減の取組

- ④⑤ 事業費増加にあたり、コスト縮減策を検討した結果、トンネル内空断面、橋梁構造等の見直しにより約1億円のコスト縮減を図る。

単位：億円

No.	主な増加理由	金額	備考
①	むこがわ 武庫川張出部の構造変更に伴う増加	40	
②	地滑り対策工の追加による費用の増加	6	
③	トンネル掘削パターンの変更に伴う費用の増額	6	
④	トンネル内空断面の見直しによる減	-0.4	
⑤	橋梁構造の見直しによる減	-0.6	
	合 計	51	

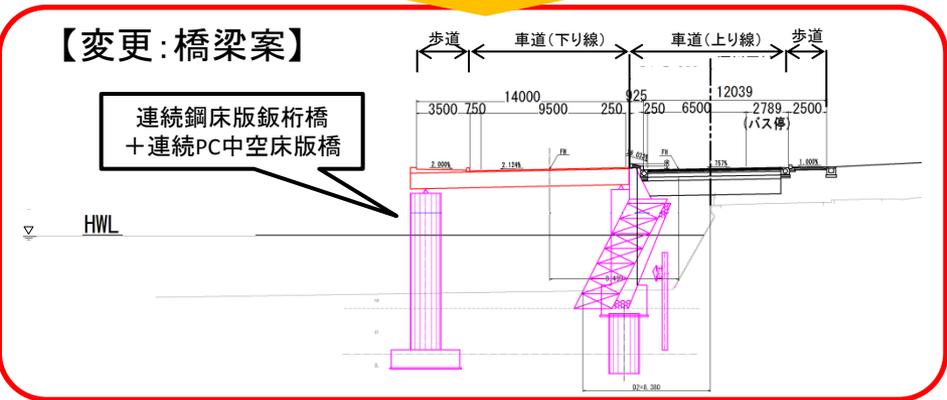
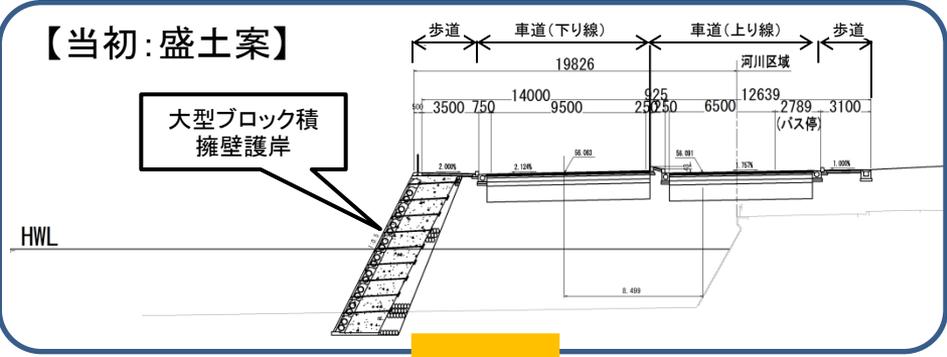
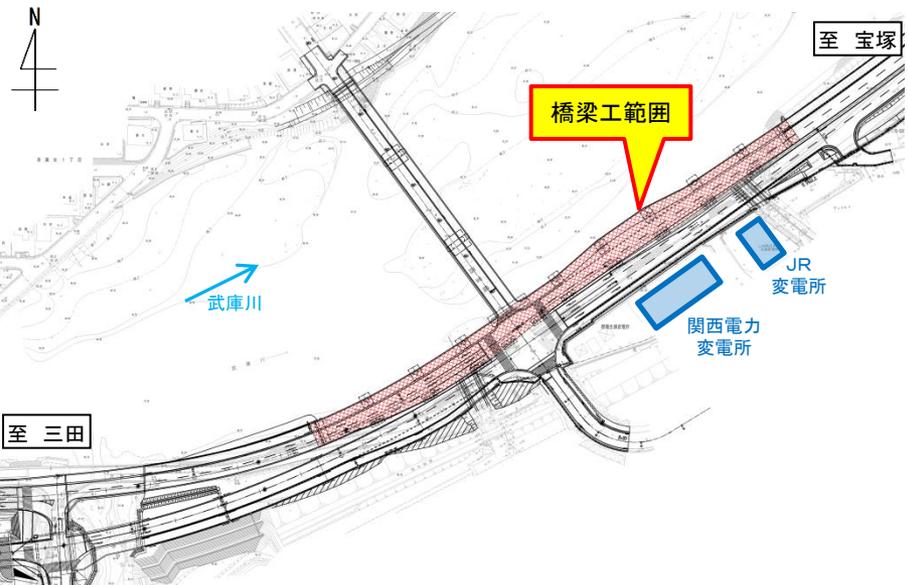
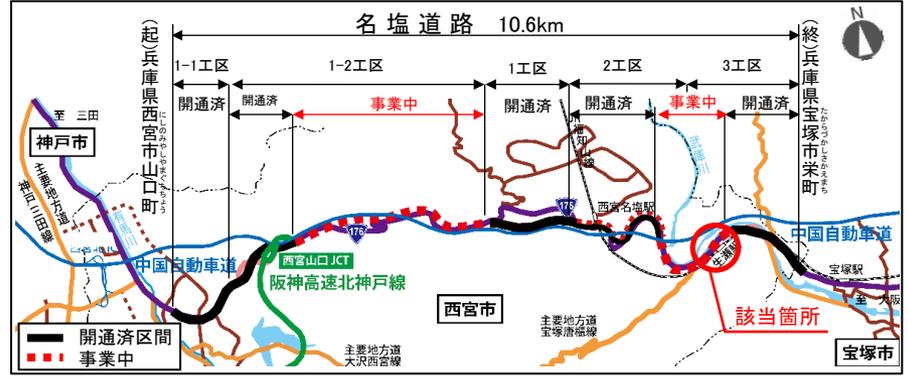
# 事業費の見直し

一般国道176号 名塩道路

## ■ 武庫川張出部の構造変更 (+40億円)

○ 当初、現道拡幅のため盛り土構造で武庫川へ張り出す計画をしていたが、関係機関との協議により河川の流下能力を維持し、安全な河川環境とするよう構造の見直しを行った結果、橋梁構造に変更。

### ■ 位置図

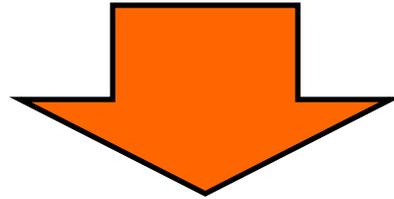


### ■ 経緯

- ・平成23年8月 「武庫川水系河川改修計画」策定
- ・平成23年10月～ 河川協議(流量解析、模型実験等実施)
- ・平成26年2月 張出構造を橋梁案として河川計画協議
- ・平成28年2月 地元調整
- ・平成28年度～ 詳細設計

## 4. コスト縮減や代替案等の可能性の視点

名塩道路の計画は、交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を勘案し、選定された合理的な計画であり、引き続き事業を推進していきます。



今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら、引き続き事業を推進していきます。

## ○兵庫県知事

平成29年10月20日 土第1470号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

一般国道176号名塩道路は、著しく人口増加した西宮市北部地域を東西方向に通過し、高速道路のICやJRの駅等をつないで、阪神北部地域の日常生活や経済活動を支える重要な幹線道路である。

本道路10.6kmのうち、これまで暫定2車線区間を含め約6.9kmが供用されている。

当該区間では、歩道が未整備で線形不良の箇所がある上、交通容量(13,730台/24h)を大きく上回る約22,000台/日の交通が通過しており、大多田橋付近では交通混雑による慢性的な速度低下が発生している。

また、未開通区間では、渋滞や線形不良に起因する事故が全体の約7割を占めるほか、歩道未設置及び狭隘区間が全体の9割以上を占めるなど危険な状況であり、走行車両や地域住民の安全確保が喫緊の課題である。加えて異常気象時通行規制区間が未だに解消されてないなど、沿線住民の日常生活や通過交通に大きな影響を与えている。

こうしたことから、安全で円滑な交通を確保するとともに、異常気象時の通行止めを解消するため、引き続き事業費のコスト縮減に配慮していただきながら、全区間の早期完成を目指し、事業推進に取り組んでいただきたい。

## ◆沿線市町村の期待

### ■西宮市長

一般国道176号は、阪神北部地域に於ける広域幹線道路であるとともに、本市北部地域の生活を支え、賑わいと活力に溢れる街づくりを推進するために、必要不可欠な生活道路である。

(期待する効果)

①防 災: **異常気象時通行規制区間の解消及び災害時に強い道路交通の確保**

※大雨による通行止めや災害時等には、地域が孤立したり避難・復旧活動に大きな支障となっている。

②交通安全: **通学児童や地元住民など歩行者の安全確保**

※名塩道路の未整備区間では、歩道無し、または1.5m未満の狭い区間が約8割を占めており、通学児童など歩行者の安全確保が喫緊の課題である。

③渋滞解消: **交通容量の拡大による交通混雑の緩和**

※交通容量を大きく上回る交通が通過しており、ラッシュ時など交通混雑による渋滞が発生し、円滑な通行に支障をきたしている。

(取り組み)

①防災・交通安全

- ・名塩道路の整備に併せ、兵庫県による武庫川の河川改修工事や、市道の西宝橋の架け替え工事などを一体的に行い、生瀬地区における防災・交通などの安全性の向上を図る。
- ・青葉台と花の峯を結ぶ道路整備により、名塩道路へのアクセス機能の強化を図る。

②コミュニティ交通の充実

- ・生瀬地区では、高齢者などの移動手段の確保のため、阪急・JR宝塚駅を起終点に、名塩道路を經由し地区内を巡回するコミュニティバスを運行。

## 1. 事業の必要性等に関する視点

- ・事業目的である交通混雑の緩和、交通安全の確保、異常気象時通行規制区間の解消が必要な状況は変化していない。
- ・名塩道路の整備により交通容量が拡大し、交通混雑の緩和が期待される。
- ・名塩道路の整備により渋滞が緩和し追突事故の防止、及び安全な歩行空間の確保が期待される。
- ・名塩道路の整備により規制雨量が緩和・解消し、周辺道路の迂回路としての活用が期待される。
- ・費用便益比(B/C)は、事業全体で1.2。残事業で13.2。

## 2. 事業進捗の見込みの視点

- ・名塩道路は、これまでに74%の用地を取得済。残る用地取得について推進するとともに、引き続き工事を進めることで、早期の供用を目指す。

名塩道路は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である。

**事業継続**



No. 7-2  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成29年度第4回

一般国道176号

な じ お  
名塩道路

【再評価】

平成29年10月  
近畿地方整備局

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道176号 名塩道路
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

前提条件	指標	指標チェックの根拠
事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全体：費用便益比(B/C)=1.2。(経済的純現在価値(B-C)=284億円、経済的内部収益率(IRR)=4.4%) 採事業：費用便益比(B/C)=13.2。(経済的純現在価値(B-C)=1235億円、経済的内部収益率(IRR)=35.8%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑な モビリティの 確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率</li> <li>■ 現道等における渋滞時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される</li> <li>□ 現道又は並行区間等における踏切交通量断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される</li> <li>■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する</li> <li>■ 幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる</li> <li>■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる</li> </ul>	区間a(費用便益分析対象区間)について、16094万人・時間/年(現道)236万人・時間/年(41772万人・時間/年⇒41493万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について、一輸送76号、大沼西発線 山西篠山線 明石神戸宝塚線 宝塚西線 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間：346万人・時間/年 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率：2割削減 国道176号(西宮市東久保～生瀬)、(旅行速度7.4km/h→60km/h、車道拡張(2車線→4車線))
物流効率化 の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる</li> <li>□ 農林水産物を主体とする地域において農林水産物の流通の利便性向上が見込まれる</li> <li>□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISU規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する</li> </ul>	阪急バス 有馬線、名塩前台線、名塩さくら台線 西宮市名塩～西宮名塩駅 (所要時間：4分⇒1分) 西宮市名塩～大阪国際空港 (所要時間：28分⇒21分)

1. 活力

<p>新市の専生</p>	<p><input type="checkbox"/> 都市専生プロジェクトを支援する事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり</p> <p><input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km<sup>2</sup>以下である市街地内での事業である</p> <p><input type="checkbox"/> D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する</p> <p><input type="checkbox"/> 対象区画が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は10ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる</p> <p><input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自動車道(A路線)としての位置づけあり</p> <p><input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり</p> <p><input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する</p> <p><input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常生活圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 日常生活圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、水対策イベントを支援する</p> <p><input type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される</p> <p><input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設へ直結する道路である</p> <p><input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である</p>	<p>名産新住宅市街地開発事業</p>
<p>居住する地域の形成</p>	<p>国土・地域ネットワークの構築</p>	<p>国道176号(西宮市東久保地区)</p> <p>西宮市名塩～神戸市(改善見込み:33分~30分)</p>



(再評価)

様式-2

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道176号	名塩道路	L=10.6km	二次改築	現拡・BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
36,100	4車線	近畿地方整備局

### ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成29年度		
単純合計	871億円	137億円	1,008億円
うち残事業分	89億円	69億円	158億円
基準年における 現在価値 (C)	1,477億円	47億円	1,523億円
うち残事業分	78億円	23億円	101億円

### ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成29年度			
供用年	平成36年度			
単年便益 (初年便益)	108億円	6.0億円	0.95億円	114億円
基準年における 現在価値 (B)	1,694億円	98億円	15億円	1,807億円
うち残事業分	1,238億円	84億円	14億円	1,336億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.2
経済的純現在価値（事業全体）	284億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.4%
費用便益比（残事業）	13.2
経済的純現在価値（残事業）	1,235億円
経済的内部収益率（残事業）	35.8%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	36,100台/日	±10%	0.9~1.5
事業費	89億円	±10%	1.2~1.2
事業期間	6年	±20%	1.1~1.2

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	36,100台/日	±10%	10.3~16.6
事業費	89億円	±10%	12.3~14.3
事業期間	6年	±20%	13.0~13.5

# 交通状況の変化

様式-3①

## 事業名：名塩道路（事業全体）

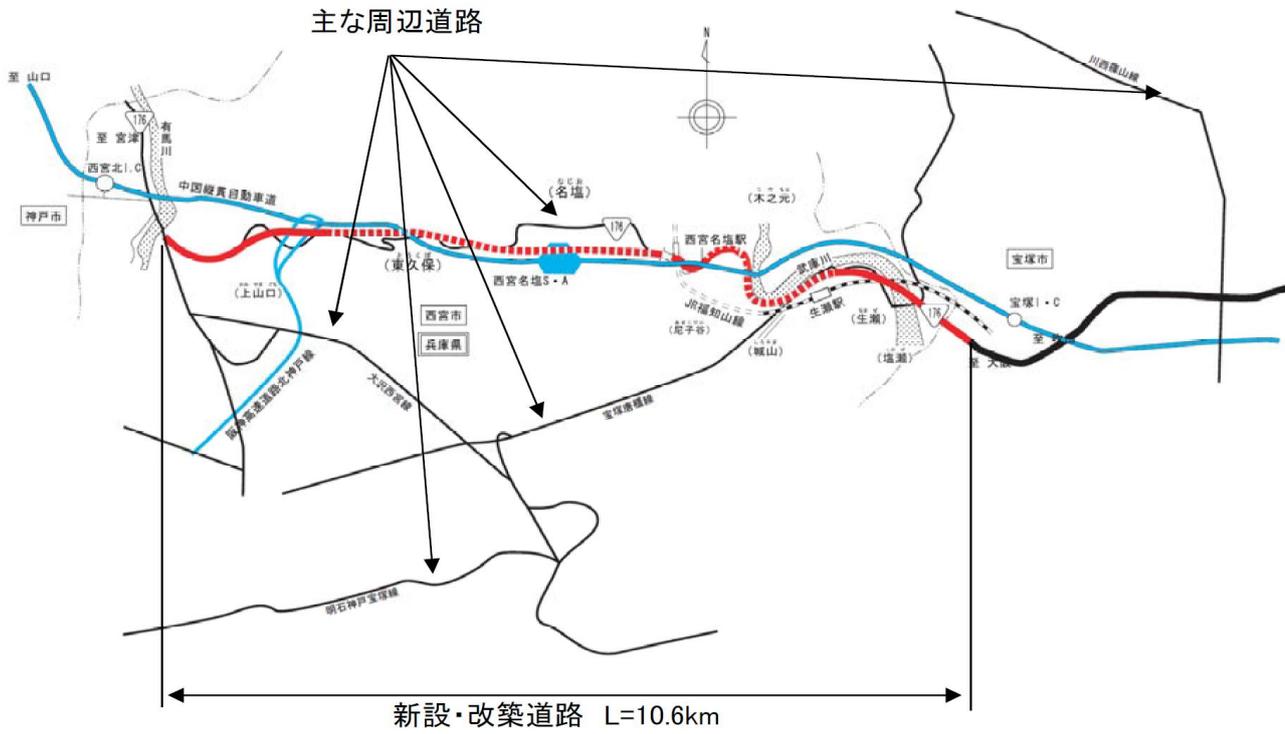
（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (10.6km)	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	26,000	36,100	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	31	36	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	146.37	242.69	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	一般国道176号 (5.2km)	交通量	[台/日]	24,700	8,800
		走行時間	[分]	23	12
		走行時間費用	[億円/年]	108.17	22.28
	大沢西宮線 (15.1km)	交通量	[台/日]	16,500	15,300
		走行時間	[分]	57	54
		走行時間費用	[億円/年]	202.89	175.13
	川西篠山線 (9.2km)	交通量	[台/日]	27,300	25,900
		走行時間	[分]	23	23
		走行時間費用	[億円/年]	129.31	119.83
	明石神戸宝塚線 (1.2km)	交通量	[台/日]	18,500	17,600
		走行時間	[分]	6	5
		走行時間費用	[億円/年]	21.85	18.93
	宝塚唐櫃線 (5.6km)	交通量	[台/日]	10,200	8,100
		走行時間	[分]	19	16
		走行時間費用	[億円/年]	37.32	25.15
③その他道路合計 (6,856.9km)	走行時間費用	[億円/年]	24,179.46	24,113.44	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：6,903.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	24,825.37	24,717.44	107.92

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



# 交通状況の変化

様式-3①

## 事業名：名塩道路（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (5.3km)	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	30,900	39,200	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	24	19	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	133.52	133.55	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	一般国道176号 (5.2km)	交通量	[台/日]	14,200	8,800
		走行時間	[分]	16	12
		走行時間費用	[億円/年]	53.67	22.28
	大沢西宮線 (15.1km)	交通量	[台/日]	16,100	15,300
		走行時間	[分]	56	54
		走行時間費用	[億円/年]	192.36	175.13
	川西篠山線 (9.2km)	交通量	[台/日]	27,500	25,900
		走行時間	[分]	23	23
		走行時間費用	[億円/年]	130.87	119.83
	明石神戸宝塚線 (1.2km)	交通量	[台/日]	17,700	17,600
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	20.04	18.93
	宝塚唐櫃線 (5.6km)	交通量	[台/日]	9,700	8,100
		走行時間	[分]	19	16
		走行時間費用	[億円/年]	35.80	25.15
③その他道路合計 (6.862.2km)	走行時間費用	[億円/年]	24,229.47	24,222.57	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：6,903.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	24,795.73	24,717.44	78.28

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

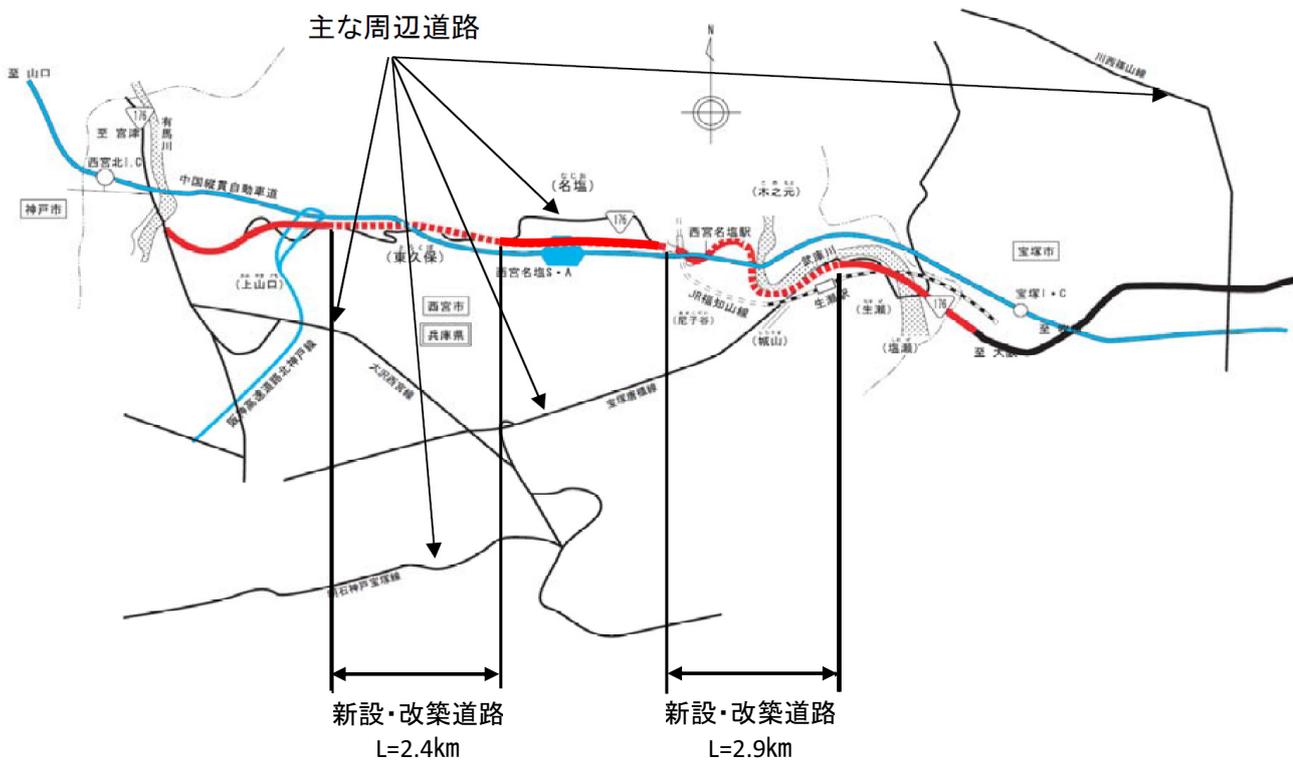
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



## 費用便益分析の条件

事業名：名塩道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成29年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	
	その他( )	<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( ) %
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する 場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

		項目	チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他( )	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 既存の路線の実績を参考に設定		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が 行われない場合 の費用	考慮しない	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
			考慮する	<input type="checkbox"/>
		考慮する 場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

# 費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道176号 名塩道路

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.28	10.6	2.96

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-39年目	S 60	3.5081	105.7	0.39	1.33		
-38年目	S 61	3.3731	107.6	9.29	29.98		
-37年目	S 62	3.2434	107.3	18.80	58.45		
-36年目	S 63	3.1187	107.9	17.04	50.68		
-35年目	H 1	2.9987	110.8	15.81	44.05		
-34年目	H 2	2.8834	113.3	20.97	54.94		
-33年目	H 3	2.7725	116.0	15.53	38.20		
-32年目	H 4	2.6658	117.6	25.38	59.21		
-31年目	H 5	2.5633	117.9	15.04	33.64		
-30年目	H 6	2.4647	117.8	31.83	68.53		
-29年目	H 7	2.3699	117.1	50.17	104.48		
-28年目	H 8	2.2788	116.6	19.33	38.87		
-27年目	H 9	2.1911	117.5	34.16	65.55		
-26年目	H 10	2.1068	116.9	38.83	72.01		
-25年目	H 11	2.0258	115.2	53.85	97.44		
-24年目	H 12	1.9479	113.8	33.92	59.74		
-23年目	H 13	1.8730	112.4	36.31	62.26		
-22年目	H 14	1.8009	110.5	38.03	63.78		
-21年目	H 15	1.7317	109.0	37.91	61.97		
-20年目	H 16	1.6651	108.0	33.73	53.51		
-19年目	H 17	1.6010	106.7	25.26	39.00		
-18年目	H 18	1.5395	105.9	29.75	44.50		
-17年目	H 19	1.4802	105.0	29.88	43.34		
-16年目	H 20	1.4233	104.4	15.28	21.44		
-15年目	H 21	1.3686	103.0	16.69	22.82		
-14年目	H 22	1.3159	101.3	12.50	16.71		
-13年目	H 23	1.2653	99.8	4.12	5.38		
-12年目	H 24	1.2167	99.0	21.10	26.68		
-11年目	H 25	1.1699	99.0	16.59	20.18		
-10年目	H 26	1.1249	101.5	27.04	30.83		
-9年目	H 27	1.0816	102.9	10.47	11.32		
-8年目	H 28	1.0400	102.9	11.70	12.17		
-7年目	H 29	1.0000	102.9	15.90	15.90		
-6年目	H 30	0.9615	102.9	14.72	14.16		
-5年目	H 31	0.9246	102.9	20.89	19.31		
-4年目	H 32	0.8890	102.9	12.84	11.41		
-3年目	H 33	0.8548	102.9	16.68	14.26		
-2年目	H 34	0.8219	102.9	11.21	9.22		
-1年目	H 35	0.7903	102.9	12.41	9.81		
供用開始年次	H 36	0.7599	102.9			2.74	2.08
1年目	H 37	0.7307	102.9			2.74	2.00
2年目	H 38	0.7026	102.9			2.74	1.93
3年目	H 39	0.6756	102.9			2.74	1.85
4年目	H 40	0.6496	102.9			2.74	1.78
5年目	H 41	0.6246	102.9			2.74	1.71
6年目	H 42	0.6006	102.9			2.74	1.65
7年目	H 43	0.5775	102.9			2.74	1.58
8年目	H 44	0.5553	102.9			2.74	1.52
9年目	H 45	0.5339	102.9			2.74	1.46
10年目	H 46	0.5134	102.9			2.74	1.41
11年目	H 47	0.4936	102.9			2.74	1.35
12年目	H 48	0.4746	102.9			2.74	1.30
13年目	H 49	0.4564	102.9			2.74	1.25
14年目	H 50	0.4388	102.9			2.74	1.20
15年目	H 51	0.4220	102.9			2.74	1.16
16年目	H 52	0.4057	102.9			2.74	1.11
17年目	H 53	0.3901	102.9			2.74	1.07
18年目	H 54	0.3751	102.9			2.74	1.03
19年目	H 55	0.3607	102.9			2.74	0.99

20年目	H	56	0.3468	102.9			2.74	0.95
21年目	H	57	0.3335	102.9			2.74	0.91
22年目	H	58	0.3207	102.9			2.74	0.88
23年目	H	59	0.3083	102.9			2.74	0.84
24年目	H	60	0.2965	102.9			2.74	0.81
25年目	H	61	0.2851	102.9			2.74	0.78
26年目	H	62	0.2741	102.9			2.74	0.75
27年目	H	63	0.2636	102.9			2.74	0.72
28年目	H	64	0.2534	102.9			2.74	0.69
29年目	H	65	0.2437	102.9			2.74	0.67
30年目	H	66	0.2343	102.9			2.74	0.64
31年目	H	67	0.2253	102.9			2.74	0.62
32年目	H	68	0.2166	102.9			2.74	0.59
33年目	H	69	0.2083	102.9			2.74	0.57
34年目	H	70	0.2003	102.9			2.74	0.55
35年目	H	71	0.1926	102.9			2.74	0.53
36年目	H	72	0.1852	102.9			2.74	0.51
37年目	H	73	0.1780	102.9			2.74	0.49
38年目	H	74	0.1712	102.9			2.74	0.47
39年目	H	75	0.1646	102.9			2.74	0.45
40年目	H	76	0.1583	102.9			2.74	0.43
41年目	H	77	0.1522	102.9			2.74	0.42
42年目	H	78	0.1463	102.9			2.74	0.40
43年目	H	79	0.1407	102.9			2.74	0.39
44年目	H	80	0.1353	102.9			2.74	0.37
45年目	H	81	0.1301	102.9			2.74	0.36
46年目	H	82	0.1251	102.9			2.74	0.34
47年目	H	83	0.1203	102.9			2.74	0.33
48年目	H	84	0.1157	102.9			2.74	0.32
49年目	H	85	0.1112	102.9	-273.83	-30.45	2.74	0.30
合計					597.52	1476.61	137.04	46.51
単純事業費計						871.35		137.04

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道176号 名塩道路

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				0.28		5.3	1.49
-6年目	H 30	0.9615	102.9	14.72	14.16		
-5年目	H 31	0.9246	102.9	20.89	19.31		
-4年目	H 32	0.8890	102.9	12.84	11.41		
-3年目	H 33	0.8548	102.9	16.68	14.26		
-2年目	H 34	0.8219	102.9	11.21	9.22		
-1年目	H 35	0.7903	102.9	12.41	9.81		
供用開始年次	H 36	0.7599	102.9			1.38	1.05
1年目	H 37	0.7307	102.9			1.38	1.01
2年目	H 38	0.7026	102.9			1.38	0.97
3年目	H 39	0.6756	102.9			1.38	0.93
4年目	H 40	0.6496	102.9			1.38	0.90
5年目	H 41	0.6246	102.9			1.38	0.86
6年目	H 42	0.6006	102.9			1.38	0.83
7年目	H 43	0.5775	102.9			1.38	0.80
8年目	H 44	0.5553	102.9			1.38	0.77
9年目	H 45	0.5339	102.9			1.38	0.74
10年目	H 46	0.5134	102.9			1.38	0.71
11年目	H 47	0.4936	102.9			1.38	0.68
12年目	H 48	0.4746	102.9			1.38	0.65
13年目	H 49	0.4564	102.9			1.38	0.63
14年目	H 50	0.4388	102.9			1.38	0.61
15年目	H 51	0.4220	102.9			1.38	0.58
16年目	H 52	0.4057	102.9			1.38	0.56
17年目	H 53	0.3901	102.9			1.38	0.54
18年目	H 54	0.3751	102.9			1.38	0.52
19年目	H 55	0.3607	102.9			1.38	0.50
20年目	H 56	0.3468	102.9			1.38	0.48
21年目	H 57	0.3335	102.9			1.38	0.46
22年目	H 58	0.3207	102.9			1.38	0.44
23年目	H 59	0.3083	102.9			1.38	0.43
24年目	H 60	0.2965	102.9			1.38	0.41
25年目	H 61	0.2851	102.9			1.38	0.39
26年目	H 62	0.2741	102.9			1.38	0.38
27年目	H 63	0.2636	102.9			1.38	0.36
28年目	H 64	0.2534	102.9			1.38	0.35
29年目	H 65	0.2437	102.9			1.38	0.34
30年目	H 66	0.2343	102.9			1.38	0.32
31年目	H 67	0.2253	102.9			1.38	0.31
32年目	H 68	0.2166	102.9			1.38	0.30
33年目	H 69	0.2083	102.9			1.38	0.29
34年目	H 70	0.2003	102.9			1.38	0.28
35年目	H 71	0.1926	102.9			1.38	0.27
36年目	H 72	0.1852	102.9			1.38	0.26
37年目	H 73	0.1780	102.9			1.38	0.25
38年目	H 74	0.1712	102.9			1.38	0.24
39年目	H 75	0.1646	102.9			1.38	0.23
40年目	H 76	0.1583	102.9			1.38	0.22
41年目	H 77	0.1522	102.9			1.38	0.21
42年目	H 78	0.1463	102.9			1.38	0.20
43年目	H 79	0.1407	102.9			1.38	0.19
44年目	H 80	0.1353	102.9			1.38	0.19
45年目	H 81	0.1301	102.9			1.38	0.18
46年目	H 82	0.1251	102.9			1.38	0.17
47年目	H 83	0.1203	102.9			1.38	0.17
48年目	H 84	0.1157	102.9			1.38	0.16
49年目	H 85	0.1112	102.9	-5.57	-0.62	1.38	0.15
合計				83.18	77.55	68.98	23.47
単純事業費計					88.75		68.98

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名：一般国道176号 名塩道路

年度 (課年)	年次	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック)		GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)				走行経費便益 (億円)				事故減少便益 (億円)		合計 (億円)			
		乗用車種	小型貨物		普通貨物	全重	乗用車種	小型貨物	普通貨物	①計	①×(A)	現在価値 ②計	②×(A)	現在価値 ③計	③×(A)	現在価値 ④計	④×(A)	
利用開始年次	H 36	0.99815	0.99277	1.01188	0.99953	0.7599	102.9	71.33	12.43	23.78	107.84	81.72	3.03	0.43	4.52	0.72	114.45	86.97
1年目	H 37	0.99815	0.99277	1.01188	0.99953	0.7307	102.9	71.20	12.34	24.07	107.60	78.63	3.03	0.43	4.37	0.70	114.53	83.69
2年目	H 38	0.99815	0.99266	1.01170	0.99953	0.7026	102.9	71.06	12.25	24.35	107.67	75.65	3.02	0.42	4.21	0.67	114.62	80.53
3年目	H 39	0.99814	0.99261	1.01156	0.99953	0.6756	102.9	70.93	12.16	24.64	107.73	72.78	3.02	0.42	4.07	0.64	114.70	77.49
4年目	H 40	0.99814	0.99255	1.01143	0.99953	0.6496	102.9	70.80	12.07	24.92	107.79	70.02	3.01	0.42	3.92	0.62	114.78	74.56
5年目	H 41	0.99814	0.99250	1.01130	0.99953	0.6246	102.9	70.67	11.98	25.21	107.86	67.37	3.00	0.41	3.78	0.59	114.87	71.75
6年目	H 42	0.99814	0.99245	1.01115	0.99953	0.6006	102.9	70.54	11.89	25.49	107.92	64.82	3.00	0.41	3.65	0.57	114.95	69.04
7年目	H 43	0.99805	0.99303	1.00215	0.99302	0.5775	102.9	69.88	11.81	25.55	107.23	61.93	2.97	0.41	3.50	0.55	114.23	65.97
8年目	H 44	0.99043	0.99298	1.00214	0.99298	0.5553	102.9	69.21	11.72	25.60	106.54	59.16	2.94	0.40	3.35	0.52	113.51	63.03
9年目	H 45	0.99034	0.99293	1.00214	0.99293	0.5339	102.9	68.55	11.64	25.66	105.85	56.51	2.91	0.40	3.21	0.50	112.79	60.22
10年目	H 46	0.99025	0.99288	1.00213	0.99288	0.5134	102.9	67.89	11.56	25.71	105.16	53.99	2.89	0.40	3.07	0.47	112.07	57.53
11年目	H 47	0.99015	0.99283	1.00213	0.99282	0.4936	102.9	67.23	11.48	25.77	104.47	51.57	2.86	0.40	2.92	0.45	111.35	54.96
12年目	H 48	0.99005	0.99278	1.00212	0.99277	0.4746	102.9	66.56	11.40	25.82	103.78	49.26	2.83	0.39	2.81	0.43	110.62	52.50
13年目	H 49	0.98995	0.99273	1.00211	0.99272	0.4564	102.9	65.90	11.31	25.88	103.09	47.05	2.80	0.39	2.69	0.41	109.90	50.16
14年目	H 50	0.98985	0.99267	1.00211	0.99267	0.4388	102.9	65.24	11.23	25.93	102.40	44.93	2.77	0.39	2.58	0.40	109.18	47.91
15年目	H 51	0.98975	0.99262	1.00211	0.99261	0.4220	102.9	64.58	11.15	25.99	101.71	42.92	2.75	0.38	2.47	0.39	108.46	45.77
16年目	H 52	0.98964	0.99256	1.00211	0.99256	0.4057	102.9	63.92	11.07	26.04	101.02	40.99	2.72	0.38	2.36	0.38	107.74	43.71
17年目	H 53	0.98953	0.99251	1.00210	0.99250	0.3901	102.9	63.25	10.98	26.10	100.34	39.14	2.69	0.38	2.26	0.38	107.02	41.75
18年目	H 54	0.98942	0.99245	1.00210	0.99245	0.3751	102.9	62.59	10.90	26.15	99.65	37.38	2.66	0.38	2.17	0.37	106.29	39.87
19年目	H 55	0.98931	0.99239	1.00209	0.99239	0.3607	102.9	61.93	10.82	26.21	98.96	35.69	2.63	0.37	2.08	0.36	105.57	38.08
20年目	H 56	0.98919	0.99234	1.00209	0.99233	0.3468	102.9	61.27	10.74	26.26	98.27	34.08	2.60	0.37	1.99	0.35	104.85	36.36
21年目	H 57	0.98908	0.99228	1.00208	0.99227	0.3335	102.9	60.60	10.65	26.32	97.58	32.54	2.58	0.37	1.90	0.35	104.13	34.73
22年目	H 58	0.98895	0.99222	1.00208	0.99221	0.3207	102.9	59.94	10.57	26.37	96.89	31.07	2.55	0.36	1.82	0.34	103.41	33.16
23年目	H 59	0.98883	0.99215	1.00208	0.99215	0.3083	102.9	59.28	10.49	26.43	96.20	29.66	2.52	0.36	1.74	0.34	102.69	31.66
24年目	H 60	0.98871	0.99207	1.00207	0.99209	0.2965	102.9	58.62	10.41	26.48	95.51	28.32	2.46	0.36	1.67	0.33	101.97	30.23
25年目	H 61	0.98858	0.99203	1.00207	0.99202	0.2851	102.9	57.96	10.33	26.54	94.82	27.03	2.46	0.36	1.60	0.33	101.25	28.87
26年目	H 62	0.98844	0.99197	1.00206	0.99196	0.2741	102.9	57.29	10.24	26.59	94.13	25.80	2.44	0.35	1.53	0.32	100.52	27.55
27年目	H 63	0.98831	0.99190	1.00206	0.99189	0.2636	102.9	56.63	10.16	26.65	93.44	24.63	2.41	0.35	1.46	0.31	99.80	26.31
28年目	H 64	0.98817	0.99183	1.00205	0.99183	0.2534	102.9	55.97	10.08	26.70	92.75	23.50	2.38	0.35	1.40	0.31	99.08	25.11
29年目	H 65	0.98803	0.99177	1.00205	0.99176	0.2437	102.9	55.31	10.00	26.76	92.06	22.44	2.35	0.34	1.34	0.30	98.36	23.97
30年目	H 66	0.98788	0.99170	1.00205	0.99169	0.2343	102.9	54.65	9.91	26.81	91.37	21.41	2.32	0.34	1.28	0.29	97.64	22.88
31年目	H 67	0.98774	0.99163	1.00204	0.99162	0.2253	102.9	53.98	9.83	26.87	90.68	20.43	2.30	0.34	1.23	0.28	96.92	21.84
32年目	H 68	0.98758	0.99156	1.00204	0.99155	0.2166	102.9	53.32	9.75	26.92	89.99	19.49	2.27	0.34	1.17	0.28	96.20	20.84
33年目	H 69	0.98743	0.99149	1.00203	0.99148	0.2083	102.9	52.66	9.67	26.98	89.30	18.60	2.24	0.33	1.12	0.27	95.47	19.89
34年目	H 70	0.98727	0.99141	1.00203	0.99141	0.2003	102.9	52.00	9.58	27.03	88.61	17.75	2.21	0.33	1.08	0.27	94.75	18.98
35年目	H 71	0.98710	0.99134	1.00203	0.99133	0.1926	102.9	51.34	9.50	27.09	87.92	16.93	2.18	0.33	1.03	0.26	94.03	18.11
36年目	H 72	0.98693	0.99126	1.00202	0.99126	0.1852	102.9	50.67	9.42	27.14	87.23	16.16	2.15	0.32	0.99	0.25	93.31	17.28
37年目	H 73	0.98676	0.99119	1.00202	0.99118	0.1780	102.9	50.01	9.34	27.19	86.54	15.40	2.13	0.32	0.94	0.25	92.59	16.48
38年目	H 74	0.98658	0.99111	1.00201	0.99110	0.1712	102.9	49.35	9.26	27.25	85.86	14.70	2.10	0.32	0.90	0.24	91.87	15.73
39年目	H 75	0.98640	0.99103	1.00201	0.99102	0.1646	102.9	48.69	9.17	27.30	85.17	14.02	2.07	0.32	0.86	0.23	91.15	15.00
40年目	H 76	0.98621	0.99095	1.00201	0.99094	0.1583	102.9	48.03	9.09	27.36	84.48	13.37	2.04	0.31	0.83	0.22	90.43	14.31
41年目	H 77	0.98602	0.99086	1.00200	0.99086	0.1522	102.9	47.36	9.01	27.41	83.79	12.75	2.01	0.31	0.79	0.21	89.70	13.65
42年目	H 78	0.98582	0.99078	1.00200	0.99077	0.1463	102.9	46.70	8.93	27.47	83.10	12.16	1.99	0.31	0.76	0.21	88.98	13.02
43年目	H 79	0.98562	0.99069	1.00199	0.99069	0.1407	102.9	46.04	8.84	27.52	82.41	11.59	1.96	0.31	0.72	0.20	88.26	12.42
44年目	H 80	0.98541	0.99060	1.00199	0.99060	0.1353	102.9	45.38	8.76	27.58	81.72	11.06	1.93	0.30	0.69	0.20	87.54	11.84
45年目	H 81	0.98519	0.99052	1.00199	0.99051	0.1301	102.9	44.71	8.68	27.63	81.03	10.54	1.90	0.30	0.66	0.19	86.82	11.30
46年目	H 82	0.98497	0.99043	1.00198	0.99043	0.1251	102.9	44.05	8.60	27.69	80.34	10.03	1.87	0.30	0.63	0.19	86.10	10.77
47年目	H 83	0.98474	0.99034	1.00198	0.99033	0.1203	102.9	43.39	8.52	27.74	79.65	9.58	1.84	0.29	0.61	0.18	85.38	10.27
48年目	H 84	0.98450	0.99024	1.00197	0.99023	0.1157	102.9	42.73	8.43	27.80	78.96	9.14	1.82	0.29	0.58	0.18	84.65	9.79
49年目	H 85	0.98426	0.99014	1.00197	0.99014	0.1112	102.9	42.07	8.35	27.85	78.27	8.70	1.79	0.29	0.56	0.17	83.93	9.33
合計								2,903.26	518.50	1,320.63	4,742.39	1,694.42	123.43	17.89	279.73	41.30	5,063.42	1,807.17

便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名: 一般国道176号 名塩道路

年度 (課課年)	年次	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)				走行経費便益 (億円)				事故減少便益 (億円)		合計 (億円)			
		乗用車種	小型貨物	普通貨物			全車	乗用車種	小型貨物	普通貨物	計	①×(A)	現在価値 ①×(A)	乗用車種	小型貨物	普通貨物	計	②×(A)	現在価値 ②×(A)	現在価値 ③×(A)
H 36	使用開始年次	0.99815	0.99277	1.01198	0.99953		47.52	9.11	21.06	77.69	59.04	2.59	0.30	2.22	5.10	3.88	0.91	0.69	83.70	63.61
H 37	1年目	0.99815	0.99277	1.01184	0.99953	102.9	47.43	9.05	21.31	77.79	58.94	2.58	0.29	2.24	5.12	3.74	0.91	0.66	83.82	61.25
H 38	2年目	0.99815	0.99266	1.01170	0.99953	102.9	47.35	8.98	21.56	77.99	54.72	2.58	0.29	2.27	5.14	3.61	0.91	0.64	83.94	58.97
H 39	3年目	0.99814	0.99261	1.01156	0.99953	102.9	47.26	8.92	21.81	77.99	52.89	2.57	0.29	2.30	5.16	3.49	0.91	0.61	84.06	56.79
H 40	4年目	0.99814	0.99255	1.01143	0.99953	102.9	47.17	8.85	22.06	78.09	50.72	2.57	0.29	2.32	5.18	3.37	0.91	0.59	84.17	54.68
H 41	5年目	0.99814	0.99250	1.01130	0.99953	102.9	47.08	8.78	22.32	78.18	48.33	2.56	0.28	2.35	5.20	3.25	0.90	0.57	84.29	52.65
H 42	6年目	0.99814	0.99248	1.01115	0.99953	102.9	47.00	8.72	22.57	78.28	47.02	2.56	0.28	2.38	5.22	3.14	0.90	0.54	84.41	50.70
H 43	7年目	0.99852	0.99303	1.00215	0.99302	102.9	46.55	8.66	22.82	77.83	44.95	2.54	0.28	2.38	5.20	3.00	0.90	0.52	83.93	48.47
H 44	8年目	0.99043	0.99298	1.00214	0.99298	102.9	46.11	8.60	22.67	77.38	42.97	2.51	0.28	2.39	5.18	2.88	0.89	0.50	83.45	46.34
H 45	9年目	0.99034	0.99293	1.00214	0.99293	102.9	45.67	8.54	22.71	76.92	41.07	2.49	0.28	2.39	5.16	2.75	0.89	0.47	82.97	44.30
H 46	10年目	0.99025	0.99288	1.00213	0.99288	102.9	45.23	8.48	22.76	76.47	39.26	2.46	0.28	2.40	5.14	2.64	0.88	0.45	82.49	42.35
H 47	11年目	0.99015	0.99283	1.00213	0.99282	102.9	44.79	8.42	22.81	76.02	37.52	2.44	0.27	2.40	5.12	2.53	0.87	0.43	82.01	40.48
H 48	12年目	0.99005	0.99278	1.00212	0.99277	102.9	44.35	8.36	22.86	75.57	35.86	2.42	0.27	2.41	5.10	2.42	0.87	0.41	81.53	38.69
H 49	13年目	0.98995	0.99273	1.00212	0.99272	102.9	43.91	8.30	22.91	75.11	34.28	2.39	0.27	2.41	5.08	2.32	0.86	0.39	81.05	36.99
H 50	14年目	0.98985	0.99267	1.00211	0.99267	102.9	43.47	8.24	22.96	74.66	32.76	2.37	0.27	2.42	5.05	2.22	0.85	0.37	80.57	35.35
H 51	15年目	0.98975	0.99262	1.00211	0.99261	102.9	43.02	8.18	23.01	74.21	31.31	2.34	0.27	2.42	5.03	2.12	0.85	0.36	80.09	33.80
H 52	16年目	0.98964	0.99256	1.00211	0.99256	102.9	42.58	8.12	23.05	73.75	29.92	2.32	0.26	2.43	5.01	2.03	0.84	0.34	79.61	32.30
H 53	17年目	0.98953	0.99251	1.00210	0.99250	102.9	42.14	8.06	23.10	73.30	28.59	2.29	0.26	2.43	4.99	1.95	0.84	0.33	79.13	30.87
H 54	18年目	0.98942	0.99245	1.00210	0.99245	102.9	41.70	7.99	23.15	72.85	27.33	2.27	0.26	2.44	4.97	1.86	0.83	0.31	78.65	29.50
H 55	19年目	0.98931	0.99239	1.00209	0.99239	102.9	41.26	7.93	23.20	72.39	26.11	2.25	0.26	2.44	4.95	1.79	0.82	0.30	78.17	28.19
H 56	20年目	0.98919	0.99234	1.00209	0.99233	102.9	40.82	7.87	23.25	71.94	24.95	2.22	0.26	2.45	4.93	1.71	0.82	0.28	77.69	26.94
H 57	21年目	0.98908	0.99228	1.00208	0.99227	102.9	40.38	7.81	23.30	71.49	23.84	2.20	0.25	2.45	4.91	1.64	0.81	0.27	77.21	25.75
H 58	22年目	0.98898	0.99222	1.00208	0.99221	102.9	39.94	7.75	23.35	71.04	22.78	2.17	0.25	2.46	4.89	1.57	0.80	0.26	76.73	24.61
H 59	23年目	0.98883	0.99215	1.00208	0.99215	102.9	39.50	7.69	23.39	70.58	21.76	2.15	0.25	2.46	4.87	1.50	0.80	0.25	76.25	23.51
H 60	24年目	0.98871	0.99207	1.00207	0.99207	102.9	39.05	7.63	23.44	70.13	20.79	2.13	0.25	2.47	4.85	1.44	0.79	0.23	75.77	22.46
H 61	25年目	0.98858	0.99203	1.00207	0.99202	102.9	38.61	7.57	23.49	69.68	19.86	2.10	0.25	2.47	4.82	1.38	0.79	0.22	75.29	21.46
H 62	26年目	0.98844	0.99197	1.00206	0.99196	102.9	38.17	7.51	23.54	69.22	18.97	2.08	0.24	2.48	4.80	1.32	0.78	0.21	74.81	20.50
H 63	27年目	0.98831	0.99190	1.00206	0.99189	102.9	37.73	7.45	23.59	68.77	18.13	2.05	0.24	2.49	4.78	1.26	0.77	0.20	74.33	19.59
H 64	28年目	0.98817	0.99183	1.00205	0.99183	102.9	37.29	7.39	23.64	68.32	17.31	2.03	0.24	2.49	4.76	1.21	0.77	0.19	73.85	18.71
H 65	29年目	0.98803	0.99177	1.00205	0.99176	102.9	36.85	7.33	23.69	67.87	16.54	2.01	0.24	2.50	4.74	1.16	0.76	0.19	73.37	17.88
H 66	30年目	0.98788	0.99170	1.00205	0.99169	102.9	36.41	7.27	23.73	67.41	15.79	1.98	0.24	2.50	4.72	1.11	0.75	0.18	72.89	17.08
H 67	31年目	0.98774	0.99163	1.00204	0.99162	102.9	35.97	7.21	23.78	66.96	15.09	1.96	0.24	2.51	4.70	1.06	0.75	0.17	72.41	16.31
H 68	32年目	0.98758	0.99156	1.00204	0.99155	102.9	35.53	7.15	23.83	66.51	14.41	1.93	0.23	2.51	4.68	1.01	0.74	0.16	71.93	15.58
H 69	33年目	0.98743	0.99149	1.00203	0.99148	102.9	35.08	7.09	23.88	66.05	13.76	1.91	0.23	2.52	4.66	0.97	0.74	0.15	71.45	14.88
H 70	34年目	0.98727	0.99141	1.00203	0.99141	102.9	34.64	7.03	23.93	65.60	13.14	1.89	0.23	2.52	4.64	0.93	0.73	0.15	70.97	14.21
H 71	35年目	0.98710	0.99134	1.00203	0.99133	102.9	34.20	6.97	23.98	65.15	12.55	1.86	0.23	2.53	4.62	0.89	0.72	0.14	70.49	13.58
H 72	36年目	0.98693	0.99126	1.00202	0.99126	102.9	33.76	6.91	24.03	64.70	11.98	1.84	0.23	2.53	4.60	0.85	0.72	0.13	70.01	12.97
H 73	37年目	0.98676	0.99119	1.00202	0.99118	102.9	33.32	6.85	24.07	64.24	11.44	1.81	0.22	2.54	4.57	0.81	0.71	0.13	69.53	12.38
H 74	38年目	0.98658	0.99111	1.00201	0.99110	102.9	32.88	6.79	24.12	63.79	10.92	1.79	0.22	2.54	4.55	0.78	0.70	0.12	69.05	11.82
H 75	39年目	0.98640	0.99103	1.00201	0.99102	102.9	32.44	6.73	24.17	63.34	10.43	1.77	0.22	2.55	4.53	0.75	0.70	0.11	68.57	11.29
H 76	40年目	0.98621	0.99095	1.00201	0.99094	102.9	32.00	6.67	24.22	62.88	9.95	1.74	0.22	2.55	4.51	0.71	0.69	0.11	68.09	10.78
H 77	41年目	0.98602	0.99086	1.00200	0.99086	102.9	31.56	6.61	24.27	62.43	9.50	1.72	0.22	2.56	4.49	0.68	0.69	0.10	67.61	10.29
H 78	42年目	0.98582	0.99078	1.00200	0.99077	102.9	31.11	6.55	24.32	61.98	9.07	1.69	0.21	2.56	4.47	0.65	0.68	0.10	67.13	9.82
H 79	43年目	0.98562	0.99069	1.00199	0.99069	102.9	30.67	6.49	24.37	61.52	8.66	1.67	0.21	2.57	4.45	0.63	0.67	0.09	66.65	9.38
H 80	44年目	0.98541	0.99060	1.00199	0.99060	102.9	30.23	6.43	24.41	61.07	8.26	1.65	0.21	2.57	4.43	0.60	0.67	0.09	66.17	8.95
H 81	45年目	0.98519	0.99052	1.00199	0.99051	102.9	29.79	6.37	24.46	60.62	7.89	1.62	0.21	2.58	4.41	0.57	0.66	0.09	65.69	8.55
H 82	46年目	0.98497	0.99043	1.00198	0.99042	102.9	29.35	6.30	24.51	60.17	7.53	1.60	0.21	2.58	4.39	0.55	0.65	0.08	65.21	8.16
H 83	47年目	0.98474	0.99034	1.00198	0.99033	102.9	28.91	6.24	24.56	59.71	7.18	1.57	0.20	2.59	4.37	0.53	0.65	0.08	64.73	7.79
H 84	48年目	0.98450	0.99024	1.00197	0.99023	102.9	28.47	6.18	24.61	59.26	6.86	1.55	0.20	2.59	4.34	0.50	0.64	0.07	64.25	7.43
H 85	49年目	0.98426	0.99014	1.00197	0.99014	102.9	28.03	6.12	24.66	58.81	6.54	1.53	0.20	2.60	4.32	0.48	0.64	0.07	63.77	7.09
合計							1,934.31	380.24	1,169.06	3,483.80	1,237.68	105.33	12.40							

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道176号	名塩道路	4	10.6km

### ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					38,380	
改良費					14,826	
	土工		m <sup>3</sup>	2,043,000	3,113	
	軟弱地盤改良工		式	1	15	
	法面工		式	1	1,441	
	擁壁工		式	1	2,689	
	函渠工		式	1	780	
	排水工		式	1	1,103	
	中央分離帯工		式	1	841	
	雑工		式	1	4,844	
橋梁費					16,462	
	橋梁		m	1,890	16,462	
トンネル費					4,622	
	NATM		m	622	4,622	
IC・JCT費						
	IC		箇所			
	JCT		箇所			
舗装費					1,652	
	車道舗装		m <sup>2</sup>	191,600	1,553	
	歩道舗装		m <sup>2</sup>	29,400	99	
付帯施設費					818	
	付帯工事費		式	1	818	付替道路、付替水路、地滑り対策工事ほか
②用地及補償費					33,662	
用地費						
	宅地		m <sup>2</sup>	330,000	27,383	
	田畑		m <sup>2</sup>	102,100	9,778	
	田畑		m <sup>2</sup>	71,900	3,802	
	山林・原野		m <sup>2</sup>	156,000	13,803	
	その他		m <sup>2</sup>			
補償費						
			式	1	6,279	
③間接経費						
			式	1	18,058	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					90,100	

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道176号	名塩道路	4	10.6km

### ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	10.6	3,050	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	11,750	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			14,800	

#### 【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道176号	名塩道路	4	10.6km

### ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				8,353	
	改良費				2,020	
		土工	m <sup>3</sup>	860,000	550	
		軟弱地盤改良工	式	1		
		法面工	式	1	420	
		擁壁工	式	1	300	
		函渠工	式	1	150	
		排水工	式	1	150	
		中央分離帯工	式	1	150	
		雑工	式	1	300	
	橋梁費				4,205	
		橋梁	m	600	4,205	
	トンネル費				2,020	
		NATM	m	311	2,020	
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				60	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	5,298	43	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	1,310	17	
	付帯施設費				48	
		付帯工事費	式	1	48	付替道路、付替水路ほか
②	用地及補償費				767	
	用地費		m <sup>2</sup>	6,930	557	
		宅地	m <sup>2</sup>	1,810	161	
		田畑	m <sup>2</sup>	2,070	109	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	3,050	287	
		その他	m <sup>2</sup>			
	補償費		式	1	210	
③	間接経費		式	1	420	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				9,540	

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道176号	名塩道路	4	5.3km

### ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	5.3	1,550	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,900	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			7,450	

#### 【単価等について】

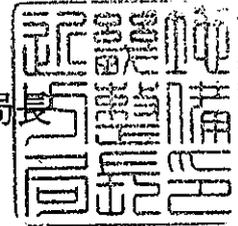
○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。



国近整企画114号  
平成29年10月4日

兵庫県知事 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針  
(原案)の作成に係る意見照会について(依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対する御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成29年10月30日(月)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成29年10月20日(金)までに、別紙について貴職の御意見を承りたく依頼いたします。

※御意見の送付・問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(再評価)

## 【海岸事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
東播海岸直轄海岸保全施設整備事業	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

## 【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道175号西脇北バイパス	事業継続	
一般国道176号名塩道路	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

## 【港湾事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
尼崎西宮芦屋港尼崎地区国際物流ターミナル整備事業	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

土 第 1470 号  
平成 29 年 10 月 20 日

近畿地方整備局長 様



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成  
に係る意見照会について（回答）

平成 29 年 10 月 4 日付け国近整企画 114 号で照会のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。

【一般国道 176 号名塩道路】

兵庫県知事の意見

一般国道 176 号名塩道路は、著しく人口増加した西宮市北部地域を東西方向に通過し、高速道路の IC や JR の駅等をつないで、阪神北部地域の日常生活や経済活動を支える重要な幹線道路である。

本道路 10.6km のうち、これまで暫定 2 車線区間を含め約 6.9km が供用されている。

当該区間では、歩道が未整備で線形不良の箇所がある上、交通容量 (13,730 台/24h) を大きく上回る約 22,000 台/日の交通が通過しており、大多田橋付近では交通混雑による慢性的な速度低下が発生している。

また、未開通区間では、渋滞や線形不良に起因する事故が全体の約 7 割を占めるほか、歩道未設置及び狭隘区間が全体の 9 割以上を占めるなど危険な状況であり、走行車両や地域住民の安全確保が喫緊の課題である。加えて異常気象時通行規制区間が未だに解消されないなど、沿線住民の日常生活や通過交通に大きな影響を与えている。

こうしたことから、安全で円滑な交通を確保するとともに、異常気象時の通行止めを解消するため、引き続き事業費のコスト縮減に配慮していただきながら、全区間の早期完成を目指し、事業推進に取り組んでいただきたい。